

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2 6 8 4 4 1 1
園名	府中白百合第二幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

英語あそび

<テーマの設定理由>

当園では、外国人講師と日本人講師による英語あそびを月1回行っている。単に英語を学ぶことを目的にするのではなく、遊びの中で楽しみながら英語に親しみ、英語や外国の文化について興味関心を持つことができるような活動を展開する。

2. 活動スケジュール

○通年・・・始まりの歌、終わりの歌（ジェスチャーを交えて）

名前「What's your name?」「My name is～」

年齢「How old are you?」「I'm～」

数・フォニックス

○年間の主なトピック

1 学期…Numbers(数)、Fruit(果物)、Vegetables(野菜)、Colors(色)、Clothes (服)
Shapes (形)

2 学期…Toy&Things (おもちゃと物)、Animals (動物)、Hygiene(衛生)

3 学期…Transportation (乗り物)、Food(食べ物)、Places (場所)、
Playground(あそび場)、Occupations(お仕事)、Breakfast(朝ごはん)

- ・英語講師、先生や友達とふれあい、コミュニケーションをとりながら、英語の歌やゲームを通して楽しみながら英語に親しむ。
- ・英語の絵本や絵カードを見ながら、外国人講師の話を聞き、異文化について知り、興味を持ち、日本との違いなど考える。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

<環境設定>

- ◎クラスの本棚に英語の絵本を入れ、子どもが見たい時に自由に見ることができるようにした。
- ◎繰り返しのフレーズのあるような物語の絵本を選び、英語のテープと合わせて聞いたり、絵本を見ながら英語で繰り返して言ってみたり等、英語が身近に感じられるよう働きかけた。
- ◎保育で使えるような簡単なフレーズを担当もクラスで話すことで、安心して英語に触れられるよう配慮した。

<活動内容・子どもの姿・教師>

- ◎「英語あそび」の時間の回数を重ねていくことで、外国人講師との距離が縮まり、「hello」「see you」など自ら挨拶をしたり、「happy」「hungry」「good idea」など英語あそびで触れた簡単な単語を使って講師に話しかける子どもが増えた。
- ◎英語あそびの時間も積極的に講師の質問に答えたり、簡単な英語を使って、子ども達同士でコミュニケーションを取る姿が見られる。
- ◎英語教師に教えてもらったジェスチャーや歌と一緒に英語を話すことで、英単語のイメージが湧きやすく、楽しんで取り組むこどもの姿が見られた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

- ◎「英語あそび」を保育内に導入してから2年目を迎えたが、1年目に比べると数段英語に対する親しみが増し、英語の時間を楽しみに待つ子ども達の様子が見られた。普段の保育の中でも担任が教えてもらった英語を使って話をしたり、英語に触れる機会を設ける事を心掛けたことで、英語の時間も講師に対する英語での受け答えの反応が良くなったり、日常の中で簡単な英語表現が子どもたちから聞こえてくるようになった。
- ◎クラスの中で担任が英語の簡単なフレーズを日本語に置き換えて話すことで、子どもたちがプレッシャーを感じることなく英語に親しめる環境を作ることができた。
- ◎日本で日常的に使われている英語も本来の英語では発音が異なることに気づき、違いを楽しんでいる様子が見られた。「じゃあ、これは英語で何て言うんだろう?」と英語に対して興味関心が膨らみ、「なぜだろう?」「どうしてだろう?」の探究心の芽生えにつながった。

